

待望の大森彌「自治体行政学」シリーズの継承本、ついに刊行!!

The Prospects of the Changing Local Government

変化に挑戦する自治体 —希望の自治体行政学—

大森 彌 著

B6判・432頁・定価 本体2,400+税

2000年の地方分権一括法以降、

加速度的に進められてきた分権改革。その分権改革を中心に、

自治体・自治体職員・地方議会議員等について論じた一冊。



2001年から2008年1月までに、著者が様々な媒体で論じた内容をまとめた書。

良書普及会から発行された『自治体行政学入門』(1987年)、『自治行政と住民の「元気」』(1990年)、『自治体職員論—能力・人事・研修』(1994年)を引き継ぐ形で出版する、いわば「新・自治体行政学」。「自治体行政学シリーズ」は、一貫して自治体・自治体職員を激励する内容となっているが、本書についてもその志は変わらない。地方議会への提言もプラスし、分権化の激しい変化を経験している自治体職員の方々、地方議会議員の方々にますます元気を与える一冊!

本書の特色

- 「協働」など近年話題のキーワードも盛り込まれ、分権化の経緯や現状が把握できる。
- 索引を利用すれば、関心ある事柄の検索も容易。
- 激動の変化に自治体・自治体職員・地方議会議員がどのように立ち向かうべきか指針が盛りこまれている。



第一法規

東京都港区南青山2-11-17 〒107-8560
<http://www.daiichihoki.co.jp>

Tel. 0120-203-694
Fax. 0120-302-640

目 次

まえがき

序章 変化の中の地方自治

- 1 世紀転換期の変化
- 2 2006年年頭―押し寄せる「改革」の波
- 3 改革の時代と自治体運営
- 4 2007年年末―地方自治の動向

第Ⅰ章 自治体の基本制度

- 1 自治体論の言葉
- 2 地方公務員でなく自治体の職員
- 3 地方自治の枠組み
- 4 自治体の役割
- 5 地方公務員法と自治体職員
- 6 自治体行政の「場」(トポス)

第Ⅱ章 合併再編を迫られる市町村

- 1 政権党と市町村数1000の目標
- 2 合併特例法と「市の三万人特例」
- 3 「骨太の方針」・自民党PT案と小規模町村論
- 4 第27次地方制度調査会の「中間報告」と基礎自治体論
- 5 今後の市町村合併と基礎自治体論
- 6 進む基礎自治体の「実体化」

補論 合併の「強力な」推進と町村

第Ⅲ章 合併後の基礎自治体運営

- 1 合併後の動向
- 2 市町村合併と過疎自治体
- 3 分権分散型の基礎自治体
- 4 「地域自治機関」の導入とその職員
- 5 分権分散型の基礎自治体と職員の定員管理
- 6 分権改革と都道府県制のゆくえ
- 7 大都市制度のゆくえ

第Ⅳ章 新たな公共空間の形成と協働

- 1 「公共空間」論
- 2 NPOの登場
- 3 公共分野の再編

第Ⅴ章 問われる自治体職員のあり方

- 1 分権時代の自治体職員
- 2 「地方行革」と自治体職員

第Ⅵ章 地方議会の改革

- 1 分権時代の地方議会
- 2 今こそ地方議会の改革を
- 3 議会改革の核心
- 4 自治法改正と地方議会改革
- 5 民意の反映―議会の使命
- 6 自治体議会議員の「職務」―固定観念の打破に向けて

第Ⅶ章 三位一体改革から第二次分権改革へ

- 1 三位一体改革の第二ラウンド
- 2 分権改革に逆行する改正「地教行法」
- 3 第二次分権改革における勝負
- 4 第二次分権改革の方向性
- 5 第二次分権委員会の「基本的考え方」
- 6 第二次分権委員会の「中間的な取りまとめ」

あとがき

初出一覧

事項索引

ホームページからのお申し込みは
＜クレジットカードでもお支払いいただけます＞



<http://www.daiichihoki.co.jp>